

ABBYY® FineReader 12

Corporate

システム管理者ガイド

本書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあり、その内容について ABBYY は何ら責任を負いません。

本書で説明されているソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供されます。同ソフトウェアは、契約条件に厳密に従った場合に限り、使用および複製が行えます。本書のいかなる部分も、書面による ABBYY の明示的な許可を得ることなく、電子的またはその他のいかなる形式または方法によっても、その目的を問わず、複製または伝送を行ってはなりません。

© 2013 ABBYY Production LLC. All rights reserved.

ABBYY、ABBYY FineReader、ADRT は、ABBYY Software Ltd. の登録商標または商標です。

© 1984-2008 Adobe Systems Incorporated and its licensors. All rights reserved.

次の米国特許により保護されています: 5,929,866; 5,943,063; 6,289,364; 6,563,502; 6,185,684; 6,205,549; 6,639,593; 7,213,269; 7,246,748; 7,272,628; 7,278,168; 7,343,551; 7,395,503; 7,389,200; 7,406,599; 6,754,382。その他の特許申請中。

Adobe® PDF Library は Adobe Systems Incorporated より使用許諾を受けています。

Adobe、Acrobat®、Adobe のロゴ、Acrobat のロゴ、Adobe PDF のロゴおよび Adobe PDF Library は、米国および/またはその他の国々における Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。

本コンピュータ プログラムの一部は次の著作権の対象です: © 2008 Celartem, Inc. All rights reserved.

本コンピュータ プログラムの一部は次の著作権の対象です: © 2011 Caminova, Inc. All rights reserved.

DjVu は米国特許 № 6,058,214 によって保護されています。外国特許申請中。

AT&T Labs Technology 搭載。

本コンピュータ プログラムの一部は次の著作権の対象です: © 2013 University of New South Wales. All rights reserved.

© 2002-2008 Intel Corporation.

© 2010 Microsoft Corporation. All rights reserved.

Microsoft、Outlook、Excel、PowerPoint、SharePoint、SkyDrive、Windows Server、Office 365、Windows Vista、Windows は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

© 1991-2013 Unicode, Inc. All rights reserved.

JasPer License Version 2.0:

© 2001-2006 Michael David Adams

© 1999-2000 Image Power, Inc.

© 1999-2000 The University of British Columbia

本製品には OpenSSL ツールキットで使用するために OpenSSL Project により開発されたソフトウェアが含まれています。(http://www.openssl.org/)。本製品には Eric Young (eay@cryptsoft.com) によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

© 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

©1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

本製品には Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) によって作成されたソフトウェアが含まれています。

本ソフトウェアの一部は次の著作権の対象です: © 2009 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

Apache、Apacheの羽根のロゴ、およびOpenOfficeは、The Apache Software Foundationの商標です。

OpenOffice.org およびカモメのロゴは、The Apache Software Foundationの登録商標です。

EPUB® は IDPF (International Digital Publishing Forum) の登録商標です

他のすべての商標は、それぞれの所有者の独占的な所有物です。

目次

LAN での ABBYY FineReader 12 の展開	3
ABBYY FineReader 12 の展開	3
マルチユーザー配布パッケージの配置.....	5
ステップ 1 管理インストール	6
ライセンス サーバーと License Manager のインストール	6
管理インストール ポイントの作成	7
マルチユーザー管理者インストールポイントの作成	8
ステップ 2 ライセンスの管理	9
ステップ 3 ワークステーションへの ABBYY FineReader 12 のインストール	10
インタラクティブ インストール	10
コマンド ライン インストール	11
アクティブディレクトリの使用	12
Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) の使用	18
端末サーバーへの ABBYY FineReader 12 のインストール	24
Windows RemoteApp のセットアップ	24
Citrix XenApp のセットアップ	25
FAQ (よくある質問)	29
ネットワーク接続設定を変更するには、どうすればよいですか?	29
ワークステーションで ABBYY FineReader 12 を修復するには、どうすればよいですか?	30
License Server をホストしているコンピュータの名前を変更し たり、License Server を別のコンピ ュータに移動したりする には、どうすればよいですか?	30
LAN でのグループ作業	32
複数のコンピュータでの同じ ABBYY FineReader ドキュメントの処理	32
複数のコンピュータで同じユーザー言語とユーザー辞書を使 用する	32
テクニカル サポート	34

LAN での ABBYY FineReader 12 の展開

全般

ABBYY FineReader 12 はローカル エリア ネットワークでインストールを行い、使用することができます。

ABBYY FineReader 12 Corporate をローカル エリア ネットワークにインストールする場合、自動インストールを利用すると、個別のワークステーションにプログラムを手動でインストールする必要がないため、迅速かつ柔軟に作業できます。

ABBYY FineReader 12 の展開

ABBYY FineReader は、Microsoft® Windows® XP (またはそれ以降) の下で動作するコンピュータから展開できます。

展開プロセスは次のステップで構成されています。

1. 管理インストール

- a. ABBYY FineReader 12 Corporate License Server および ABBYY FineReader 12 Corporate License Manager のインストール

方法の詳細については「[ライセンス サーバーと License Manager のインストール](#)」を参照してください。

注意: ABBYY FineReader 12 Corporate License Manager がインストールされたコンピュータは、「ライセンス管理者ステーション」になります。

- b. 管理インストール ポイントの作成

方法の詳細については「[管理インストール ポイントの作成](#)」を参照してください。

注意: License Server、License Manager、およびワークステーションが使用するネットワーク接続設定は、変更が可能です。詳細については以下を参照してください。[ネットワーク接続設定を変更するには、どうすればよいですか?](#)

注意: 管理インストール ポイントと License Server は、同じコンピュータまたは異なるコンピュータのいずれかに配置できます。

2. ライセンスの管理

ライセンスは ABBYY FineReader 12 License Manager を利用して管理します。

ABBYY FineReader 12 のインストール時にライセンスが各ワークステーションに正しく割り当てられるようにするために、特定のライセンスを取得する優先順位を特定のワークステーションに設定する必要があります。これを目的として、特定のワークステーションのためにライセンスおよびライセンスのプールを予約します。[ステップ 2 ライセンスの管理](#)。

3. 次の方法のいずれかを使用した、ワークステーションへの ABBYY FineReader のインストール

- インタラクティブ モードで手動により
- コマンド ライン経由
- アクティブディレクトリ
- Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM)

方法の詳細については「[ステップ 3 ワークステーションへの ABBYY FineReader 12 のインストール](#)」を参照してください。

重要事項

1. 管理インストール ポイントと同じフォルダに License Server を配置しないでください。
2. 同じワークステーションに ABBYY FineReader の異なるエディションをインストールすることはできません。

管理インストール フォルダの要件

1. 管理インストール ポイントを作成するための空きディスク容量 750 MB
2. コンピュータに ABBYY FineReader がインストールされるすべてのユーザーについて、管理インストール フォルダ (例: `\\MyFileServer\Distribs\ABBYY FineReader 12`) の読み取り権限。
3. 管理インストール ポイントが作成されるサーバー (`\\MyFileServer`) は、長いファイル名をサポートするオペレーティング システムの下で動作するファイル サーバーである必要があります。
4. アクティブディレクトリ® を使用して ABBYY FineReader 12 を展開する場合、ドメイン コンピュータ アカウントには管理インストール フォルダの読み取り権限が必要となります。

License Server の要件

1. ライセンス ファイルおよびアカウントを作成するための空きディスク容量 100 MB。
2. License Server がインストールされるサーバー (`\\MyLicenseServer`) は、Microsoft® Windows® 10、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8、Microsoft Windows 7、Microsoft Windows Vista、Microsoft Windows Server 2012、Microsoft Windows Server 2012 R2、Microsoft Windows Server 2008、Microsoft Windows Server 2008 R2、Microsoft Windows Server 2003 R2、Microsoft Windows XP の下で動作する必要があります。
3. License Server のオペレーティング システムによってサポートされている接続数は、少なくともプログラムを使用する可能性のあるユーザーの合計数と同数である必要があります (同時ライセンスについてのみ)。
たとえば、Microsoft Windows XP で同時に実行可能な接続数は最大 10 であるため、ABBYY FineReader を一度に実行できるワークステーションは 10 台のみです。

ライセンス管理者ステーションの要件

1. Microsoft® Windows® 10、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8、Microsoft Windows 7、Microsoft Windows Vista、Microsoft Windows Server 2012、Microsoft Windows Server 2012 R2、Microsoft Windows Server 2008、Microsoft Windows Server 2008 R2、Microsoft Windows Server 2003 R2、Microsoft Windows XP の下で動作するコンピュータ。
2. 空きディスク容量 100 MB

ワークステーションの要件

1. 1 GHz 以上の 32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) CPU
2. オペレーティング システム: Microsoft® Windows® 10、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8、Microsoft Windows 7、Microsoft Windows Vista、Microsoft Windows Server 2012、Microsoft Windows Server 2012 R2、Microsoft Windows Server 2008、Microsoft Windows Server 2008 R2、Microsoft Windows Server 2003 R2、Microsoft Windows XP (ローカライズされたインターフェイスで作業するには、オペレーティング システムが該当する言語をサポートしている必要があります)
3. 1024 RAM。マルチプロセッサ システムでは、追加プロセッサのそれぞれについて 512 MB の RAM を追加する必要があります
4. すべてのプログラム コンポーネントのインストール用 850 MB、プログラムの動作用 700 MB
5. ビデオ カードおよびモニター (最小で 1024×768 の解像度をさぼーとするもの)
6. キーボードおよびマウスまたはその他のポインティング デバイス

マルチユーザー配布パッケージの配置

一般的な配布パッケージとは異なり、マルチユーザー配布パッケージは、License ServerやLicense Managerのインストールを必要としません。

ローカルエリアネットワーク上にマルチユーザー配布パッケージを配置するには、以下のステップで行います。

1. マルチユーザー管理インストールポイントの作成
このステップで、マルチユーザー・アクティベーションキーが配布パッケージに追加され、シリアル番号を入力しなくても、ABBYY FineReaderをワークステーションにインストールできます。詳細は、[マルチユーザー管理インストールポイントの作成](#)を参照してください。
2. 次の方法のいずれかを使用した、ワークステーションへの **ABBYY FineReader** のインストール
 - インタラクティブ モードで手動により
 - コマンド ライン経由
 - アクティブディレクトリ
 - Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM)

方法の詳細については「[ステップ 3 ワークステーションへの ABBYY FineReader 12 のインストール](#)」を参照してください。

管理インストール フォルダの要件

1. 管理インストール ポイントを作成するための空きディスク容量 750 MB
2. コンピュータに ABBYY FineReader がインストールされるすべてのユーザーについて、管理インストール フォルダ (例: `\\MyFileServer\Programs Distribs\ABBYY FineReader 12`) の読み取り権限。
3. 管理インストール ポイントが作成されるサーバー (`\\MyFileServer`) は、長いファイル名をサポートするオペレーティング システムの下で動作するファイル サーバーである必要があります。
4. アクティブディレクトリ® を使用して ABBYY FineReader 12 を展開する場合、ドメイン コンピュータ アカウントには管理インストール フォルダの読み取り権限が必要となります。
5. パスは、以下の要件を満たさなければなりません:
 - Unicode対応でないアプリケーション用のデフォルトのシステム言語として、言語のコードページに記載されていない文字は、パスには使用できません。
 - また、中間フォルダの名前の最初にスペース文字を使用することはできません。

ステップ 1 管理インストール

ライセンス サーバーと License Manager のインストール

1. セットアップ ディスクを CD-ROM ドライブに入れます。セットアップ プログラムが自動的に開始されます。
注意: セットアップ プログラムが自動的に開始されない場合は、ABBYY FineReader 12 CD-ROM から **License Server\Setup.exe** ファイルを実行してください。
2. **[LAN で ABBYY FineReader を展開する] > [ABBYY FineReader License Server をインストールする]** を選択します。
3. セットアップ プログラムによって表示される指示に従います。
セットアップでは次の操作が行えます。
 - ABBYY FineReader License Server と ABBYY FineReader License Manager をインストールします。
License Server と License Manager は同じコンピュータにインストールされます。License Manager がインストールされるフォルダを指定することができます。
 - ABBYY FineReader 12 License Manager のみをインストールします。License Manager がインストールされるフォルダを指定し、License Server をホストするコンピュータの名前を指定する必要があります。



注意:

- ABBYY FineReader 12 のライセンスを複数のユーザーが管理する場合は、各ユーザーのコンピュータに License Manager のユーティリティをインストールしておく必要があります。
- 各ユーザーはサーバー上の次の 2 つのローカル グループのいずれかのメンバーである必要があります。

1. ABBYY Licensing Administrators
2. BUILTIN\Administrators

ユーザー認証は、次のファイルで無効にすることができます

%programfiles%\Common

Files\ABBYY\FineReader\12.00\Licensing\CE\NetworkLicenseServer.ini

(64ビットシステムをご使用の場合、または **%commonprogramfiles(x86)%\ABBYY\FineReader\12.00\Licensing\CE\NetworkLicenseServer.ini**)
このファイルは、License Server がインストールされているコンピュータにあります。このファイルに次のパラメータを追加します。

[Licensing]

EnableManagerAuthorization = false

重要事項 変更を有効にするためには、ABBYY FineReader 12 CE Licensing Service を再起動する必要があります。

管理インストール ポイントの作成

1. セットアップ ディスクを CD-ROM ドライブに入れます。セットアップ プログラムが自動的に開始されます
注意: セットアップ プログラムが自動的に開始されない場合は、ABBYY FineReader 12 CD-ROM から **Setup.exe /a** ファイルを実行してください。
2. [LAN で ABBYY FineReader を展開する] > [管理インストール ポイントを作成する] を選択します。
3. セットアップ プログラムによって表示される指示に従います。
セットアップ プログラムによる指示が表示されたら、次の項目を指定します。
 - License Server がインストールされるコンピュータの名前
 - 管理インストール フォルダへのパス

重要事項 ABBYY FineReader をワークステーションにインストールした後は、管理インストール フォルダを移動しないでください。

ABBYY FineReader 12 Corporate - InstallShield Wizard

ネットワーク上の場所
以下の情報を入力し、ABBYY FineReader 12 管理インストールのネットワーク上の場所を指定してください。

サーバー名(S):

例: WIN-7NOOQ8P44RS

管理インストールのパス(A):
 参照(R)...

共有ネットワークフォルダへの UNC パス (例: \\Server\Shared\FineReader) を指定してください

InstallShield

< 戻る(B) インストール(I) キャンセル(C)

マルチユーザー管理者インストールポイントの作成

1. ABBYY FineReader 12 CD-ROM、あるいは配布パッケージをコピーしたフォルダにある**Autorun.exe**ファイルを実行します。
2. **マルチユーザー管理者インストールポイントの作成**をクリックします。



3. セットアッププログラムの指示に従います。
マルチユーザーアクティベーションキーを既存の配布パッケージに追加するか、新しい管理インストールポイントを作成します。新しい管理インストールポイントを作成する場合、新しい管理インストールポイントがあるフォルダへのパスを指定する必要があります。パスは、以下の要件を満たさなければなりません：
 - Unicode対応でないアプリケーション用のデフォルトのシステム言語として、言語のコードページに記載されていない文字は、パスには使用できません。
 - また、中間フォルダの名前の最初にスペース文字を使用することはできません。

その結果、ABBYY FineReader配布パッケージが作成され、シリアル番号を入力しなくてもワークステーションへインストールできるようになります。製品はインターネット上で自動的に認証され、ユーザーに確認を求めることはありません。ただし、インストールされる製品のワークステーションがインターネットに接続されていなければなりません。

詳細は、[ステップ 3 ワークステーションへの ABBYY FineReader 12 のインストール](#)を参照してください。

ステップ 2 ライセンスの管理

ABBYY FineReader 12 License Manager は ABBYY FineReader 12 と共に提供される特別なアプリケーションで、ABBYY FineReader のライセンス管理を目的としています。このアプリケーションは、ABBYY FineReader 12 がローカル エリア ネットワークに展開されたときに、ライセンス管理ステーションにインストールされます（詳細については「[ライセンス サーバーと License Manager のインストール](#)」を参照）。

ABBYY FineReader 12 License Manager を用いてライセンスの設定を行います。

- 1) **ABBYY FineReader 12 License Manager にライセンスを追加します。**
ABBYY FineReader 12 のライセンス（またはライセンスのグループ）には、ライセンスを識別する固有のシリアル番号があります。ライセンスの認証を行って ABBYY FineReader 12 License Manager に追加するには、ライセンスのシリアル番号の認証を行う必要があります。
- 2) **ライセンスのプールを作成し、必要なライセンスをプールに追加します。**
ライセンスのプールとは、レベルが同じライセンスまたはシリアル番号のセットです。ライセンスプールを利用することにより、ライセンスの作業が容易になります。たとえば、各ライセンスを個別に予約する代わりに、ライセンスをプールに追加して、そのプールを特定のワークステーションのために予約できます。
- 3) **プールとライセンスを適切なワークステーションのために予約します。**
ワークステーションに ABBYY FineReader 12 をインストールする前に、各ワークステーションにライセンスを割り当てる必要があります。すなわち、ABBYY FineReader 12 License Manager を使用して適切なワークステーションのためにライセンスを予約します。あるワークステーションのためにライセンスを予約すると、そのライセンスを使用できるのは、そのワークステーションのみになります。

重要事項 ワークステーションへの ABBYY FineReader 12 のインストールを開始する前に、ライセンスとプールを予約してください。ワークステーションに ABBYY FineReader をインストールした後で、ワークステーションの結び付けまたは結び付け解除を行うには、ワークステーションからプログラムを削除する必要があります。ワークステーションに ABBYY FineReader をインストールした後で、あるワークステーションから別のワークステーションに接続クライアント単位ライセンスを移動するには、ライセンス認証を解除する必要があります。ライセンス認証を解除できる回数には制限があります。

ライセンスの種類および ABBYY FineReader 12 License Manager での作業についての詳細は、ABBYY FineReader 12 License Manager ヘルプのファイルを参照してください。

ステップ 3 ワークステーションへの ABBYY FineReader 12 のインストール

重要！ ワークステーションに ABBYY FineReader 12 Corporate をインストールする前に、必ず下記を行って下さい：

- 管理インストールポイントを作成し、ABBYY FineReader 12 License Manager ([ライセンスサーバーと License Manager のインストール](#), [管理インストールポイントの作成](#), [ステップ 2 ライセンスの管理](#)を参照)を使ってライセンスを構成する。

あるいは

- マルチユーザー管理インストールポイント ([マルチユーザー管理インストールポイントの作成](#)を参照)を作成します。

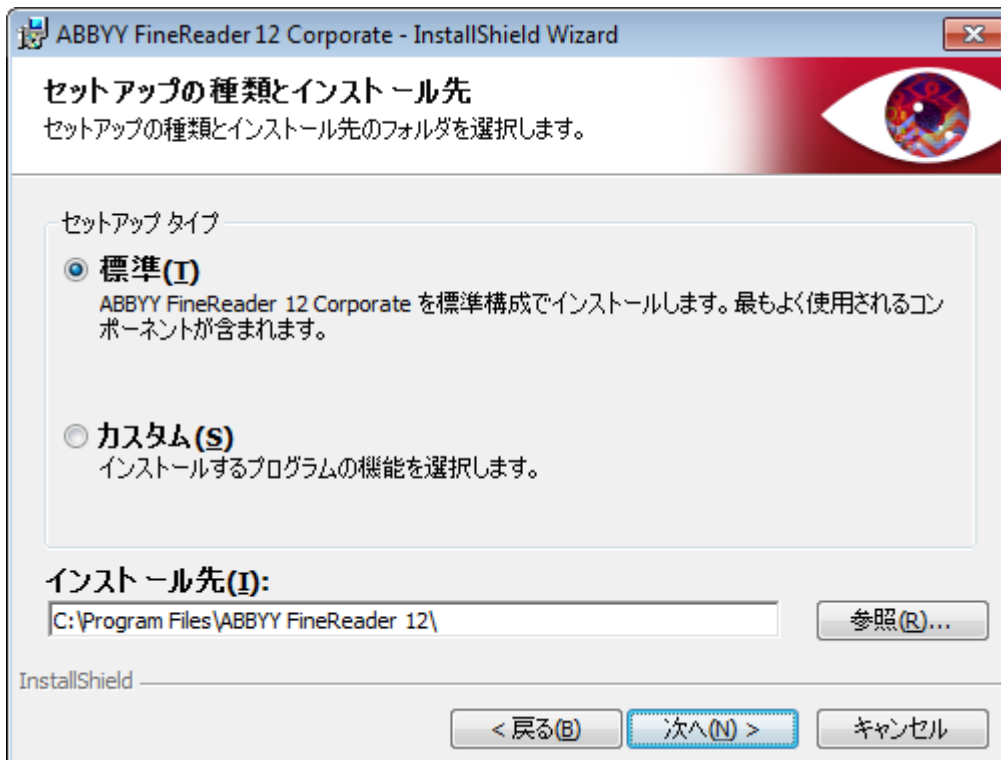
インストール時のライセンスの設定に従って ABBYY FineReader 12 がワークステーションにインストールされた場合に限り、ワークステーションは接続クライアント単位ライセンスを取得してサーバーに結び付けられます。

注意：

- 同じワークステーションに ABBYY FineReader の異なるエディションをインストールすることはできません。
- ワークステーションが別のマシンからクローン化された場合は、ライセンスメカニズムの誤動作を防ぐために、ABBYY FineReader をインストールする前にセキュリティ識別子 (SID) の値を変更する必要があります。
- ABBYY FineReader を使用するには、Microsoft Core XML Services (MSXML) 6.0 がワークステーションにインストールされている必要があります。

インタラクティブ インストール

- 管理インストールポイント([ステップ 1 管理インストール](#)参照)あるいは、マルチユーザー管理インストールポイント([マルチユーザー管理インストールポイントの作成](#)参照)を作成します。
- 管理インストール フォルダにある **setup.exe** ファイルを実行します。



3. セットアップ ウィザードによって表示される指示に従います。

コマンド ライン インストール

1. 管理インストールポイント([ステップ 1 管理インストール](#)参照)あるいは、マルチユーザー管理インストールポイント([マルチユーザー管理インストールポイントの作成](#)参照)を作成します。
2. 下記のコマンド ライン パラメータを使用して、管理インストール フォルダにある **setup.exe** ファイルを実行します。

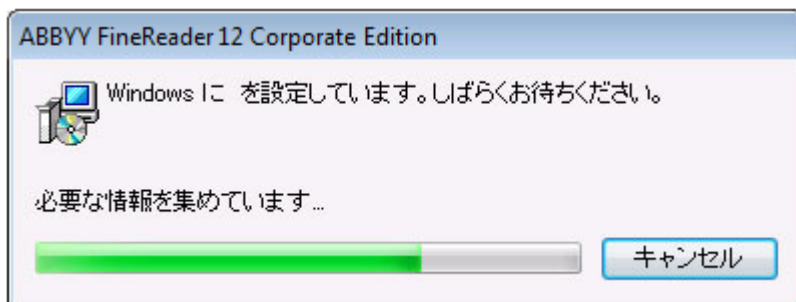
サイレント インストール

サイレント インストールを行うには、次の文字列を入力します

Setup.exe /qn

サイレント インストールの場合、セットアップ ダイアログ ボックスは表示されず、プログラムは既定の設定でインストールされます (インターフェイス言語はコンピュータの地域設定に基づいて自動的に選択されます)。

注意: インストールの進捗度バーを表示する場合は、"/qn" を "/qb" に変更します。他のダイアログボックスは一切表示されません。



サイレント インストール用の追加的なコマンドライン オプション

/L<言語コード> は、インターフェイス言語の自動選択を無効にし、コマンド ラインで指定したインターフェイス言語で ABBYY FineReader をインストールします。

利用できる可能性のある言語コード* の値:

- 1026 ブルガリア語
- 1028 中国語 (繁体字)
- 1029 チェコ語
- 1030 デンマーク語
- 1031 ドイツ語
- 1032 ギリシャ語
- 1033 英語
- 1034 スペイン語
- 1036 フランス語
- 1038 ハンガリー語
- 1040 イタリア語
- 1041 日本語
- 1042 韓国語
- 1043 オランダ語
- 1045 ポーランド語
- 1046 ポルトガル語 (ブラジル)

- 1049 ロシア語
- 1051 スロバキア語
- 1053 スウェーデン語
- 1055 トルコ語
- 1058 ウクライナ語
- 1061 エストニア語
- 1066 ベトナム語
- 2052 中国語 (簡体字)

*利用可能なインターフェイス言語の数は、ご使用の頒布パッケージの種類により異なります。

/V"<コマンド ライン>" は、指定したコマンド ラインを **msiexec.exe** に直接、渡します。「コマンド ライン」の語句の代わりに次の語句を指定できます。

INSTALLDIR="<インストール先へのパス>" は、ABBYY FineReader 12 がインストールされるフォルダへのパスを指定します。

NO_WEB_ALLOWED=Yes: 選択した ABBYY FineReader 12 設定に関する情報をインターネットを介して ABBYY に送信することを禁止する。

NO_INTEGRATION=Yes: ABBYY FineReader 12 を Microsoft Office アプリケーションおよび Windows Explorer と統合することを禁止する。

NO_MSWORD_INTEGRATION=Yes: ABBYY FineReader 12 を Microsoft Word と統合することを禁止する。

NO_MSOUTLOOK_INTEGRATION=Yes: ABBYY FineReader 12 を Microsoft Outlook と統合することを禁止する。

NO_MSEXCEL_INTEGRATION=Yes: ABBYY FineReader 12 を Microsoft Excel と統合することを禁止する。

NO_EXPLORER_INTEGRATION=Yes: ABBYY FineReader 12 を Windows Explorer と統合することを禁止する。

NO_SHCTDESKTOP=Yes: ABBYY FineReader 12 アイコンをデスクトップ上に作成することを禁止する。

NO_SSR_STARTUP=Yes: システム起動時に ABBYY Screenshot Reader を起動することを禁止する。

NO_CHECK_UPDATES=Yes: 更新の確認を禁止する。

NO_BCR=Yes: ABBYY Business Card Reader のインストールを禁止する。

NO_HF=Yes: ABBYY Hot Folder のインストールを禁止する。

MARKETING_TIPS_ALLOWED=No - 広告メッセージの表示を無効にします。

例:

```
Setup.exe /qn /L1049 /v INSTALLDIR="C:\ABBYY FineReader 12"  
NO_WEB_ALLOWED=Yes
```

これにより、ABBYY FineReader 12 が C:\ABBYY FineReader 12 にインストールされます。メニュー、ダイアログ ボックスおよびその他のインターフェイス要素はロシア語で表示されます。選択した ABBYY FineReader 12 設定に関する情報がインターネットを介して ABBYY に送信されることはありません。利用可能な OCR 言語のセットは、頒布パッケージの種類により異なります。

サイレント モードでの ABBYY FineReader 12 のアンインストール

```
msiexec /x {F12000CE-0001-0000-0000-074957833700}
```

アクティブディレクトリの使用

Microsoft Windows Server 2003およびそれ以降には、**Active Directory**と呼ばれる統合ディレクトリサービスが含まれており、その中に**グループ ポリシー**が含まれます。グループ ポリシーの一部である「ソフトウェア インストール」スナップインを利用すると、ソフトウェア アプリケーションを複数のワークステーションに同時にインストールできます。

[Active Directory] (アクティブディレクトリ)は次の 3 つの主なインストール方法を備えています。

- ユーザーに公開する
- ユーザーに割り当てる
- コンピュータに割り当てる

ABBYY FineReader 12 は **[Assign to Computer]** (コンピュータに割り当てる) 方法を使用してインストールできます。

重要事項

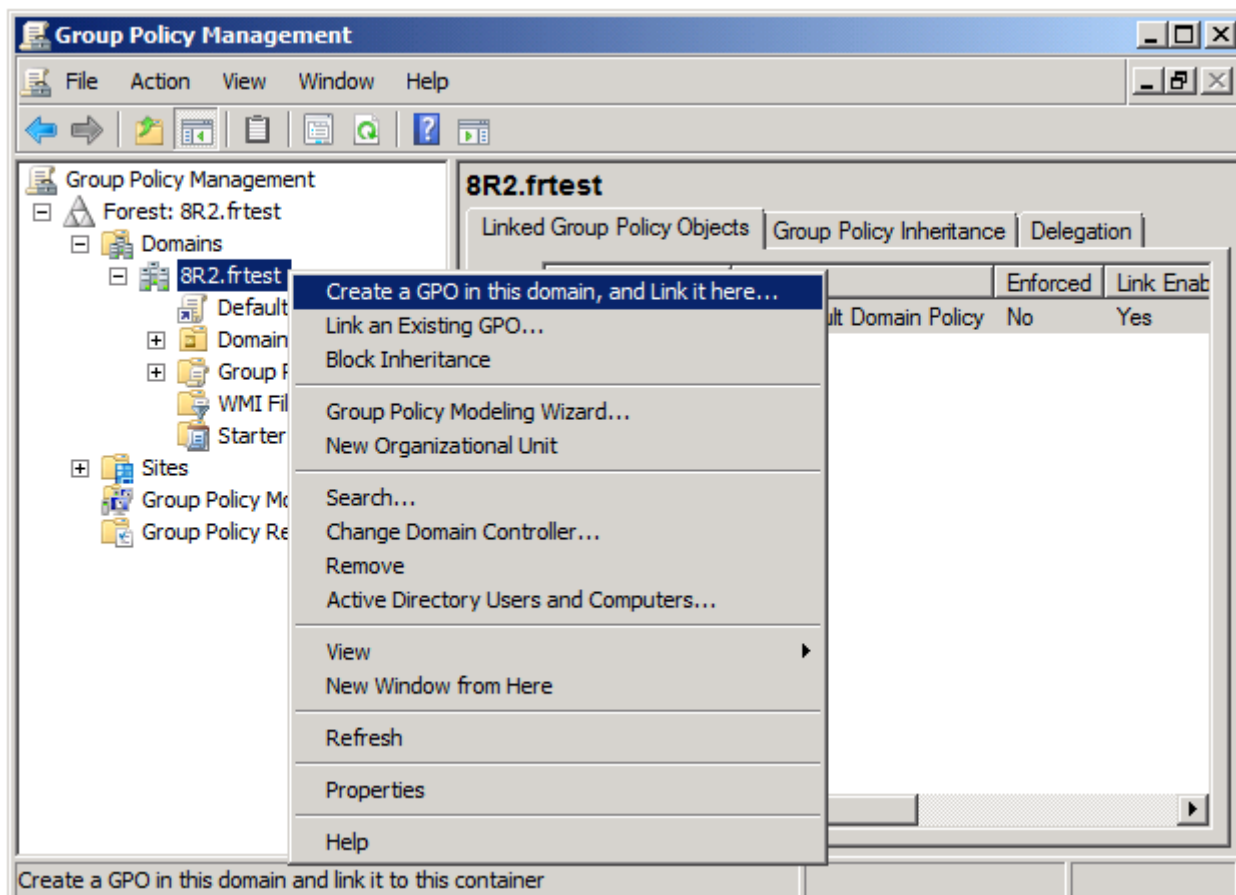
1. ABBYY FineReader 12 のインストールは、ワークステーションが再起動した後でのみ、完了します。
2. **[Publish to User]** (ユーザーに公開する) 方法および **[Assign to User]** (ユーザーに割り当てる) 方法はサポートされていません。

例: アクティブディレクトリを使用した ABBYY FineReader 12 の展開

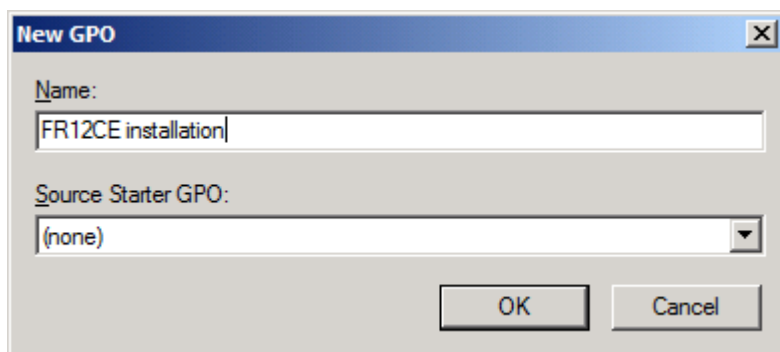
この例では、Microsoft Windows Server 2008 R2 の下での展開について説明します。

プログラムは 1 台のドメイン コンピュータまたはコンピュータのグループにインストールされます。

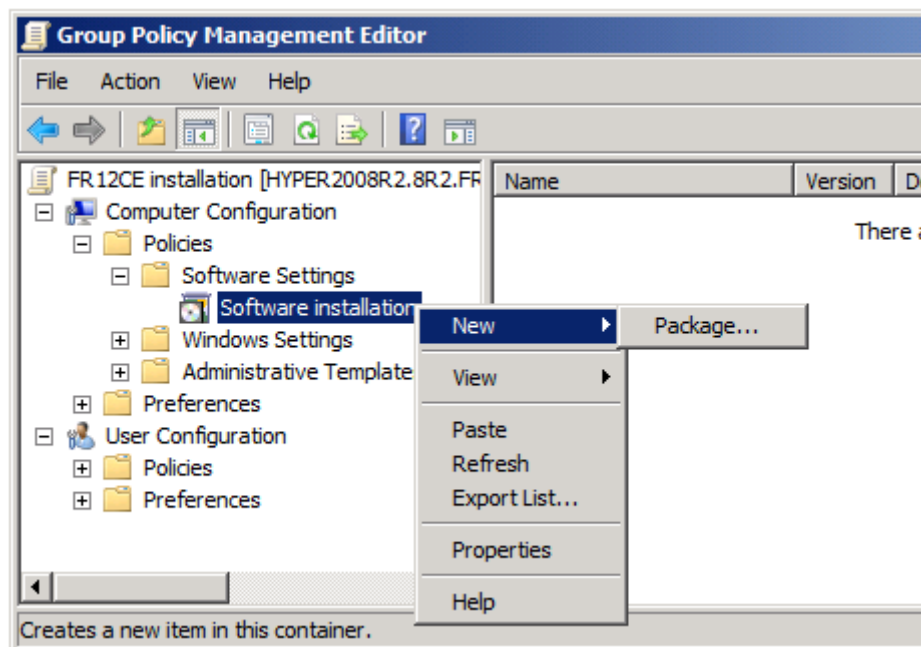
1. 管理インストールポイント([ステップ 1 管理インストール](#)参照)あるいは、マルチユーザー管理インストールポイント([マルチユーザー管理インストールポイントの作成](#)参照)を作成します。
2. **Gpmc.msc**を実行して、**グループ ポリシー管理**コンソールを開きます。
3. ABBYY FineReader 12 をインストールするコンピュータまたはコンピュータのグループを含む組織的単位を右クリックします。
4. ショートカット メニューで **[Create a GPO in this domain, and Link it here...]** を選択します。



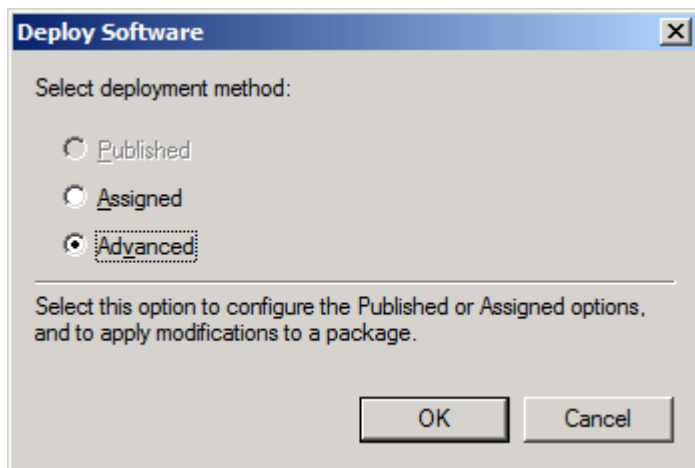
5. 分かりやすい名前を入力し、**[OK]** をクリックします。



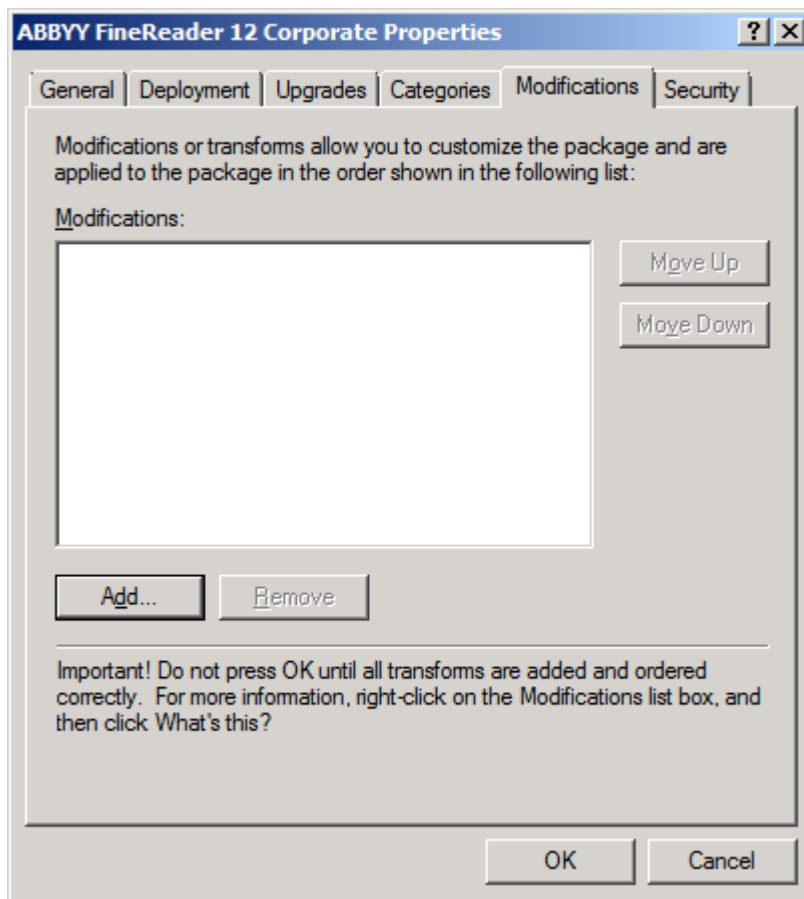
6. 作成した [**Group Policy**] (グループ ポリシー) オブジェクトを右クリックし、[**Edit**] (編集) を選択します。
7. [Group Policy Object Editor] (グループ ポリシー オブジェクト エディタ) ウィンドウで、[**Computer Configuration**] > [**Software Settings**] > [**Software Installation**] ([コンピュータ構成] > [ソフトウェア設定] > [ソフトウェアのインストール]) をクリックします。
8. ショートカット メニューで [**New**]/[**Package...**] ([新規]/[パッケージ...]) を選択します。



9. サーバーの管理インストール フォルダにある **ABBYY FineReader 12 Corporate.msi** ファイルへのネットワーク パスを入力します (「ステップ 1 管理インストール」を参照)。
10. **Advanced** (高度) の展開方法を選択します。



11. 表示されたダイアログ ボックスで、[**Modifications**] (変更) タブをクリックし、次に [**Add...**] (追加) ボタンをクリックします。



12. ワークステーションにインストールされたときに ABBYY FineReader が使用するインターフェイス言語を選択します。インターフェイス言語のファイルは、サーバーの管理インストールフォルダにあります。

ファイル名とその言語は次のとおりです。

1026.mst	ブルガリア語
1028.mst	中国語 (繁体字)
1029.mst	チェコ語
1030.mst	デンマーク語
1031.mst	ドイツ語
1032.mst	ギリシャ語
1033.mst	英語
1034.mst	スペイン語
1036.mst	フランス語
1038.mst	ハンガリー語
1040.mst	イタリア語
1041.mst	日本語
1042.mst	韓国語
1043.mst	オランダ語
1045.mst	ポーランド語
1046.mst	ポルトガル語 (ブラジル)
1049.mst	ロシア語
1051.mst	スロバキア語
1053.mst	スウェーデン語
1055.mst	トルコ語

1058.mst	ウクライナ語
1061.mst	エストニア語
1066.mst	ベトナム語
2052.mst	中国語（簡体字）

例：ロシア語のインターフェイスの ABBYY FineReader をインストールするには、[1049.mst] を選択します。

グループ ポリシーを使用した ABBYY FineReader 12 のインターフェイスの変更

ABBYY FineReader 12 では、インターネットへのアクセスを必要とするメニュー項目を無効にできます。該当するメニュー項目は下記のとおりです。

Enable 'ABBYY Website' menu item: ブラウザ ウィンドウで ABBYY の Web サイトを開く

Enable 'Check for Updates' menu item: ABBYY FineReader 12 の更新をオンラインで確認する

Enable 'Send Feedback' menu item: ABBYY にフィードバックを送信するためのフォームを表示するブラウザ ウィンドウを開く

Enable Usage Statistics: カスタマー エクスペリエンス向上プログラムへの参加を有効にする

Enable 'Activate...' menu item: ABBYY FineReader 12 のライセンス認証プロセスを開始する

Enable 'Register...' menu item: ABBYY FineReader 12 の登録プロセスを開始する

Enable 'Buy...' menu item: ブラウザ ウィンドウで ABBYY のオンライン ストアを開く

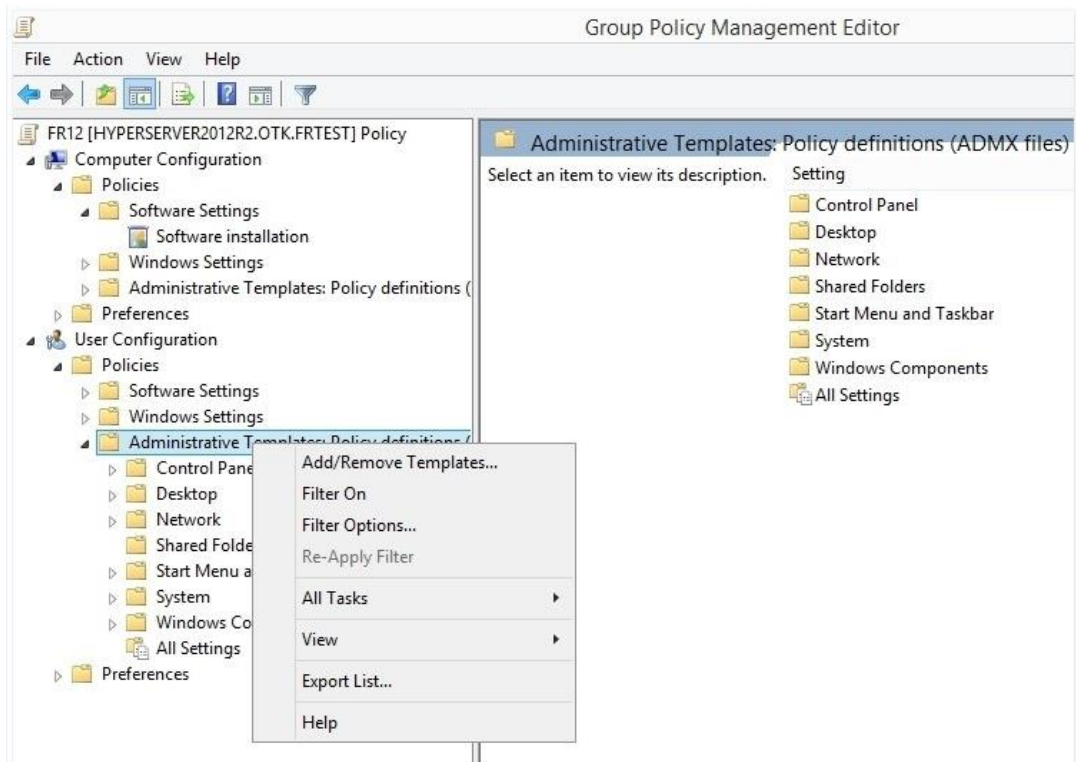
Enable loading marketing tips from the ABBYY servers: ABBYY FineReader 12 のヒントを Web から読み込む

Enable loading updates from the Web: 更新のダウンロードを有効にする

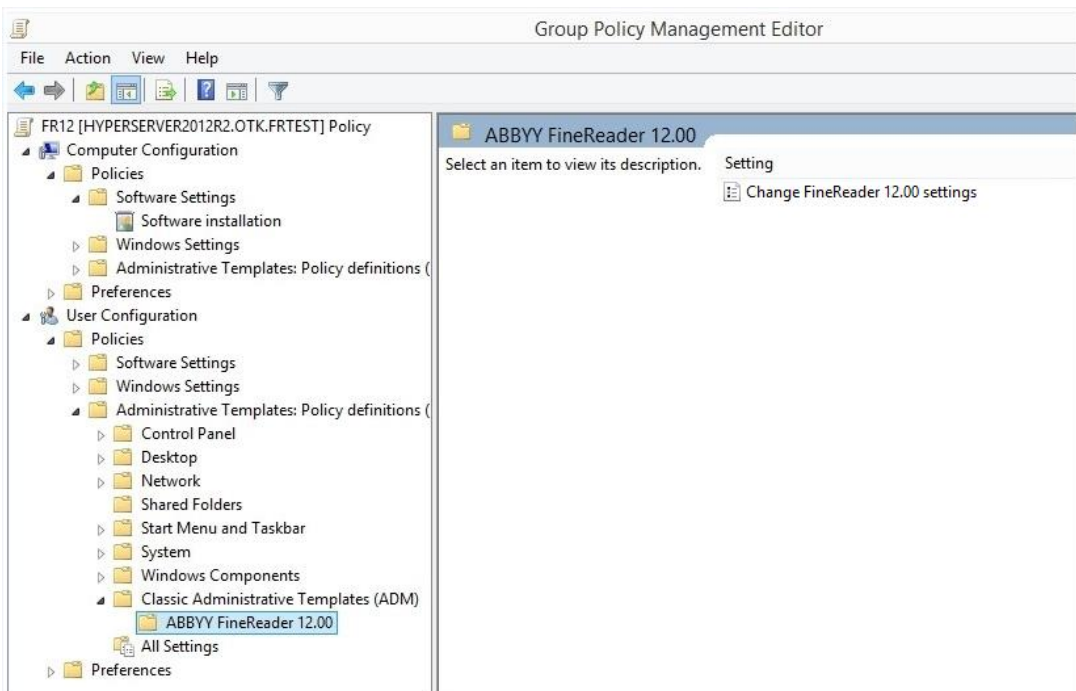
重要事項! これらの設定のファイルを手に入れるためには、テクニカル サポートに連絡する必要があります。このファイルには *.adm という拡張子が付いています。

ABBYY FineReader 12 のインターフェイスを変更するには、以下の手順を実行します。

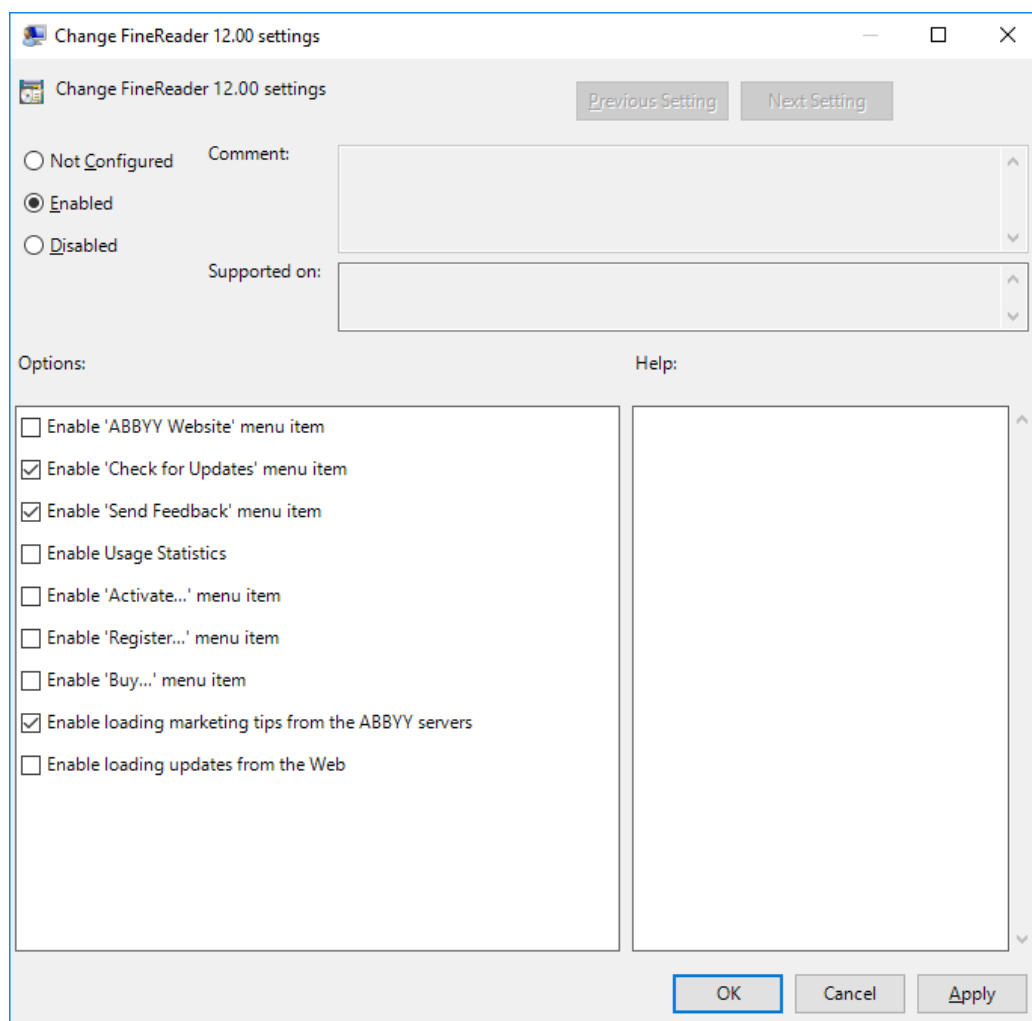
1. **[Group Policy Management]** (グループ ポリシー管理) コンソールを開きます (詳しくは、「[例: アクティブ ディレクトリを使用した ABBYY FineReader 12 の展開](#)」セクションの手順 4~6 を参照)。
2. **[Group Policy Management Editor]** (グループ ポリシー管理エディタ) で、**[User Configuration]** > **[Policies]** > **[Administrative Templates]** > **[Add/Remove Templates...]** ([ユーザー設定] > [ポリシー] > [管理テンプレート] > [テンプレートの追加/削除...]) をクリックし、受信した *.adm ファイルを開きます。



3. ファイルを開いた後、[Group Policy Management Editor] (グループ ポリシー管理エディタ) に「**Classic Administrative Templates (ADM)**」という名前のフォルダが表示されます。*.adm ファイルはこのフォルダに含まれます。



4. ABBYY FineReader 12 のインターフェイスから削除するコマンドを選択し、[OK] をクリックします。



5. 行った変更を保存するには、サーバー上のグループ ポリシーを更新し、ワークステーションで ABBYY FineReader 12 を再起動します。

注意 上に挙げられているオプションは、ABBYY Hot Folder、ABBYY Business Card Reader、ABBYY Screenshot Reader でも無効にできます。これらの製品用の *.adm ファイルを入手するには、テクニカル サポートまでご連絡ください。

Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) の使用

Microsoft System Center Configuration Manager は、ローカル エリア ネットワークでのソフトウェア展開を自動化するため、ソフトウェアがインストールされる場所（コンピュータ、グループ、またはサーバー）に直接移動する必要がなくなります。

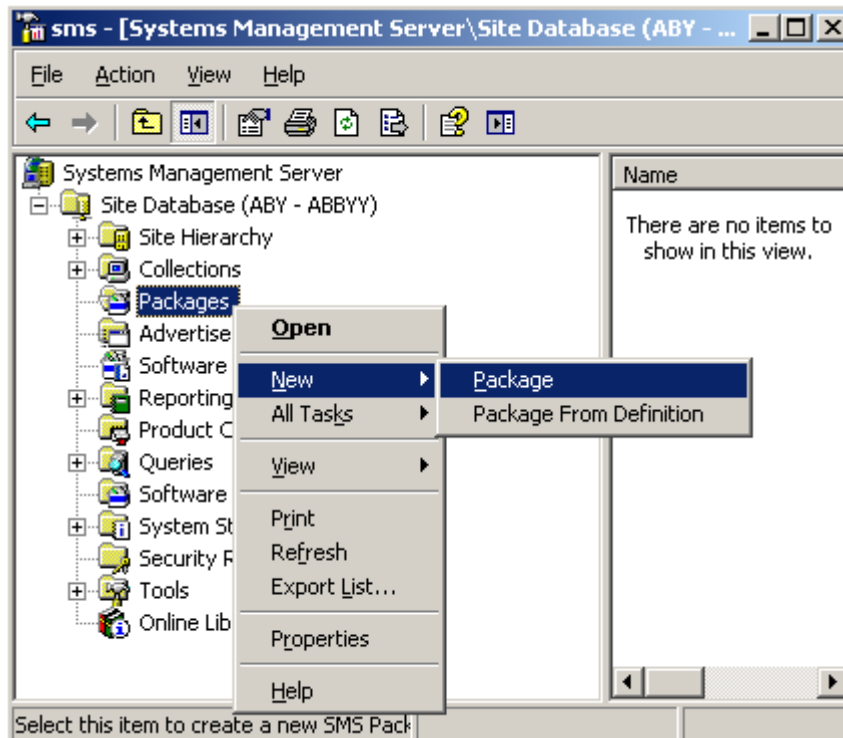
SCCM を使用したソフトウェアの展開は、次の 3 つの段階で構成されています。

1. 自動インストールのための ABBYY FineReader 12 の準備（いわゆる「無人セットアップ」の作成）。
2. 展開スクリプトの作成、すなわちインストール パラメータの選択。
 - コンピュータ名
 - インストールの時刻
 - インストールの条件

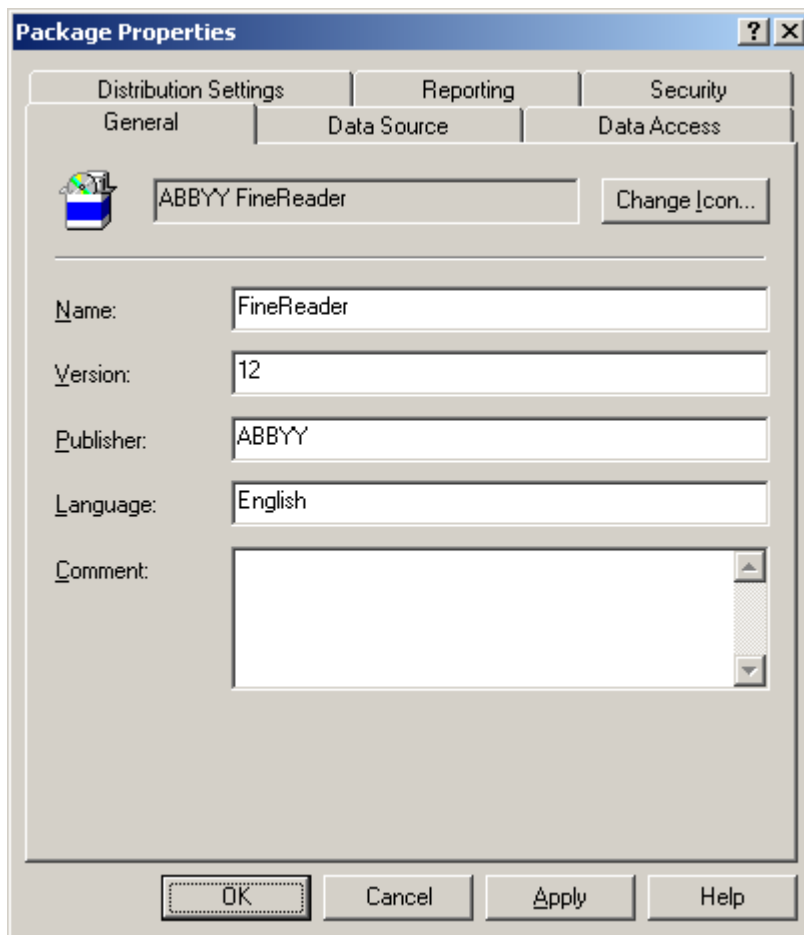
3. 指定されたコンピュータへのソフトウェアのインストール (スクリプトで指定されたインストール パラメータに従って SCCM が実行)。

例: SCCM を使用した ABBYY FineReader 12 の展開

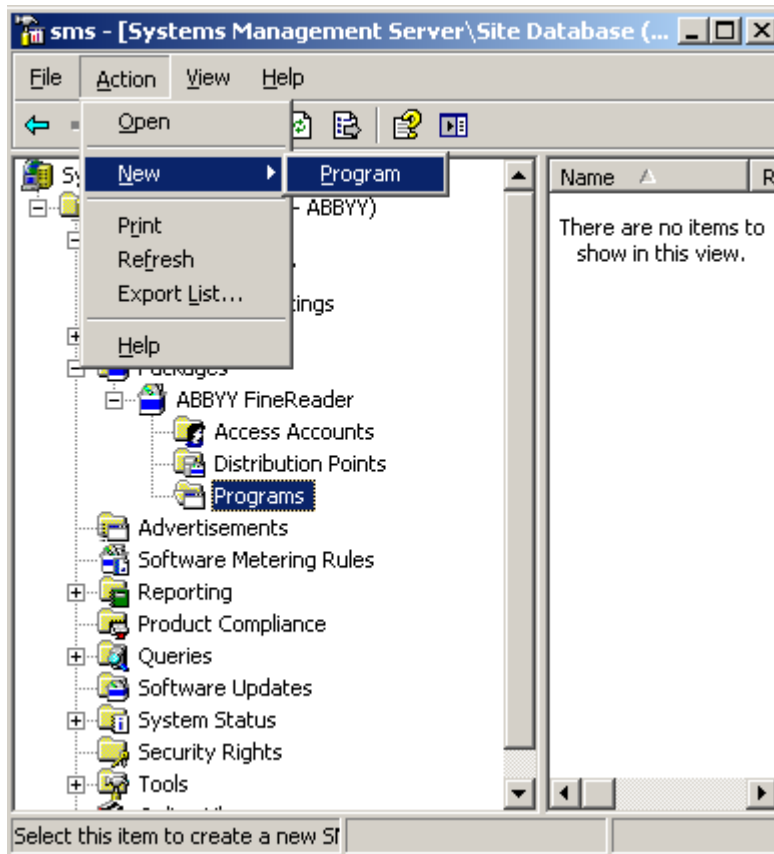
1. 管理インストールポイント([ステップ 1 管理インストール](#)参照)あるいは、マルチユーザー管理インストールポイント([マルチユーザー管理インストールポイントの作成](#)参照)を作成します。
2. SCCM 管理者コンソールで、**[Packages]** (パッケージ) の項目を選択します。
3. **[Action]** (操作) メニューで、**[New]** > **[Package]** ([新規] > [パッケージ]) を選択します。



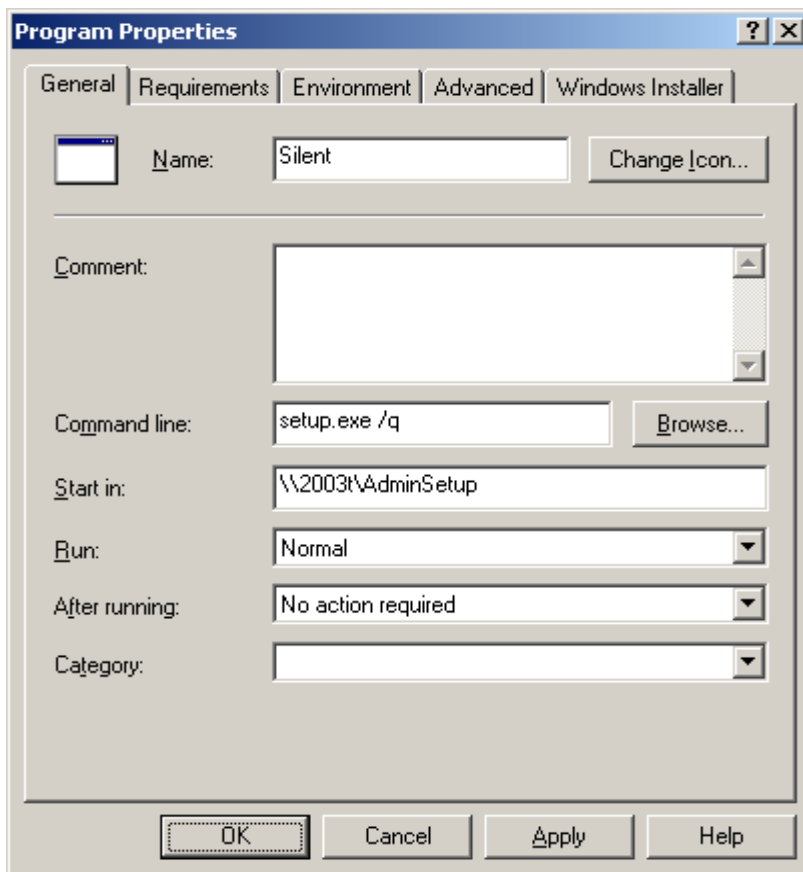
4. 表示された **[Package Properties]** (パッケージ プロパティ) ダイアログ ボックスで、必要なパッケージ プロパティを入力します。



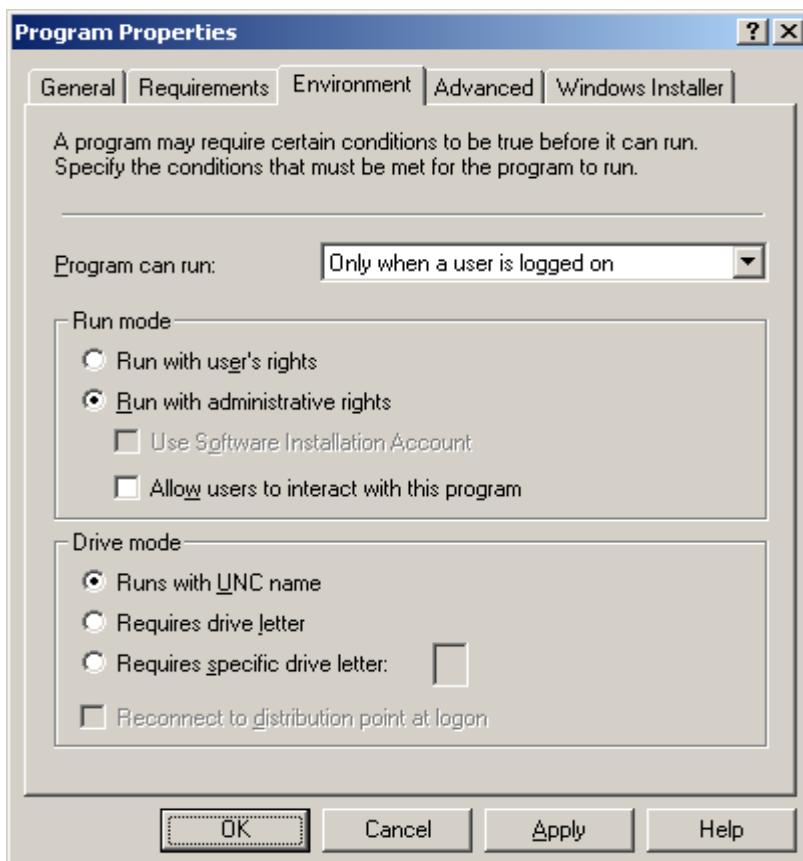
5. **[Data Source]** (データ ソース) タブをクリックします。
6. **[This package contains source files]** (このパッケージはソース ファイルを含む) ボックス にチェックマークが付いていないことを確認し、**[OK]** をクリックします。
7. 作成したパッケージで、**[Programs]** (プログラム) を選択します。
8. **[Action]** (操作) メニューで、**[New] > [Program]** ([新規] > [プログラム]) を選択します
。



9. [Program Properties] (プログラム プロパティ) ダイアログ ボックスの [General] (全般) タブで。
- プログラムの分かりやすい名前を [Name] (名前) フィールドに入力します
 - [Command Line] (コマンド ライン) フィールドに「**setup.exe /q**」と入力します
 - [Start in] (開始場所) フィールドに、管理インストール フォルダへのパス (例: **\\MyFileServer\Distribs\ABBYY FineReader 12**) を入力します



10. [Program Properties] (プログラム プロパティ) ダイアログ ボックスの [Environment] (環境) タブで
- [Run with administrative rights] (管理者権限で実行する) を選択します
 - [Runs with UNC name] (UNC 名で実行する) が選択されていることを確認します



11. 必要に応じて [**Program can run**] (プログラムの実行条件) フィールドの条件を変更し、**[OK]** をクリックします。
12. [**Distribute Software Wizard**] (ソフトウェア配布ウィザード) を使用することも可能です。ウィザードを実行するには、**[Action]** (操作) メニューで **[All Tasks] > [Distribute Software]** ([すべてのタスク] > [ソフトウェアの配布]) を選択し、ウィザードに表示される指示に従います。

重要事項 Distribution Points (配布ポイント) は作成できません。

端末サーバーへの ABBYY FineReader 12 のインストール

ABBYY FineReader 12 は Citrix XenApp 6.5 および Windows Server 2008R2 と Windows Remote Desktop Services 7.0 との互換性についてテストされています。いずれのソリューションも、ABBYY FineReader 12 のすべてのバージョンとともに使用できます。ただし、複数のユーザーが ABBYY FineReader を同時に使用できるようにするには、**ABBYY FineReader 12 Corporate** および **Concurrent** ライセンスを使用する必要があります。

ABBYY FineReader 12 は、アプリケーション ストリーミングはサポートしていません。

1. 管理インストールを実行します。

License Server および License Manager は、ローカル エリア ネットワークにある任意のコンピュータにインストールできます。詳細については「[ステップ 1 管理インストール](#)」を参照してください。

2. License Manager を起動します。
3. すべてのライセンスを License Manager に追加します。
4. 管理インストール フォルダから端末サーバーに ABBYY FineReader 12 をインストールします。

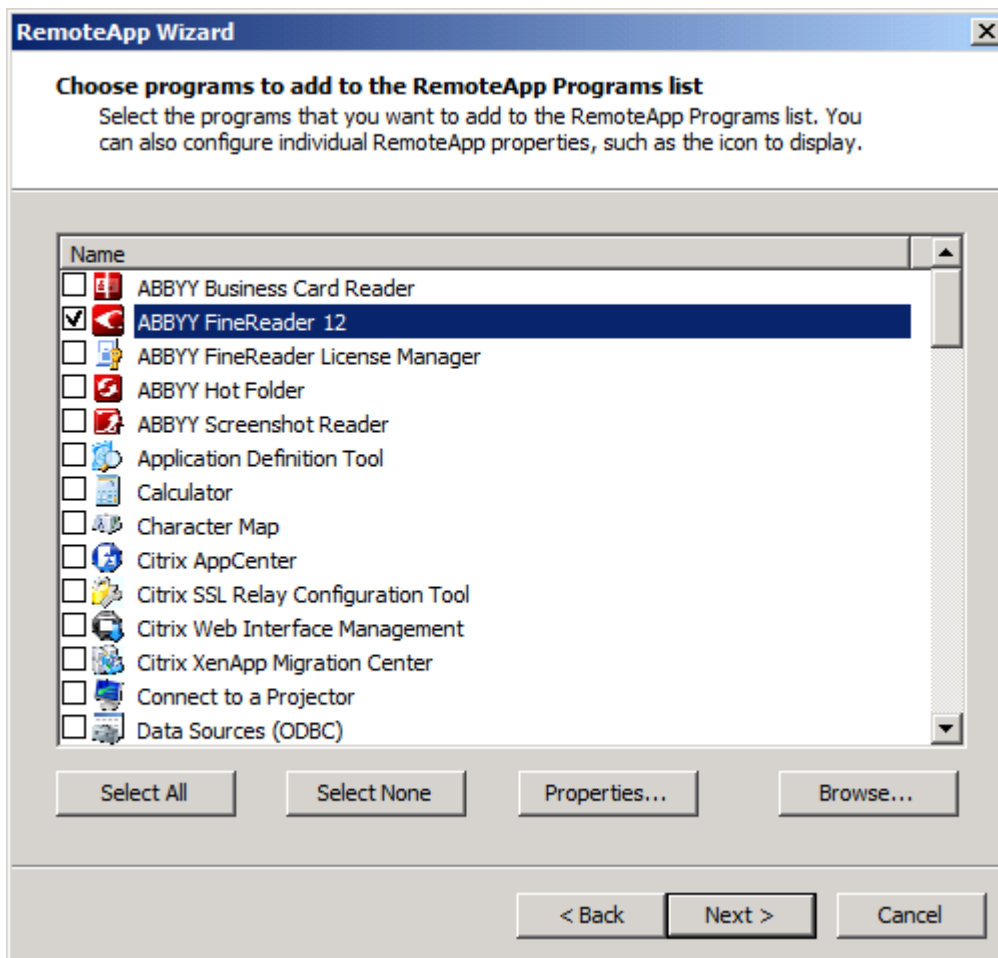
ABBYY FineReader は、ワークステーションの場合と同様に、端末サーバーにインストールされます。これで、複数のユーザーがリモート コンピュータからアプリケーションのクライアント部分にアクセスできます。

注意: License Server を端末サーバーにインストールすることも可能です。

Windows RemoteApp のセットアップ

ご使用のサーバーに ABBYY FineReader 12 がインストールされていることを確認します。

1. Server Manager で、[**Role**] (ロール) > [**Remote Desktop Services**] > [**RemoteApp Manager**] を選択します。
2. [**Add RemoteApp Programs**] (RemoteApp Programs を追加) をクリックします。
3. インストールされているアプリケーションのリストで [**ABBYY FineReader 12**] を選択します。



Citrix XenApp のセットアップ

Citrix XenApp では、「Installed application」（インストールされているアプリケーション）、「Accessed from a server」（サーバーからアクセス）を使用します。Citrix ファームのすべてのサーバーに ABBYY FineReader 12 Corporate がインストールされている必要があります。また、十分な数の「同時」ライセンスを実行しているライセンス サーバーを作成する必要があります。いかなる時点においても、ABBYY FineReader 12 にアクセスしているユーザーの数と少なくとも同数のライセンスが必要になります。

Citrix XenApp をセットアップするには

1. Citrix AppCenter (バージョン 6.5 用) を開きます。
2. ABBYY FineReader 12 が実行されるファームを選択します。
3. **[Action]** (アクション) > **[Publish application]** (アプリケーションを公開) を選択します。
4. **[Name]** (名前) の手順で、アプリケーションの名前とアプリケーションの説明を入力します。

ABBYY FineReader 12 - Publish Application

CITRIX

Name

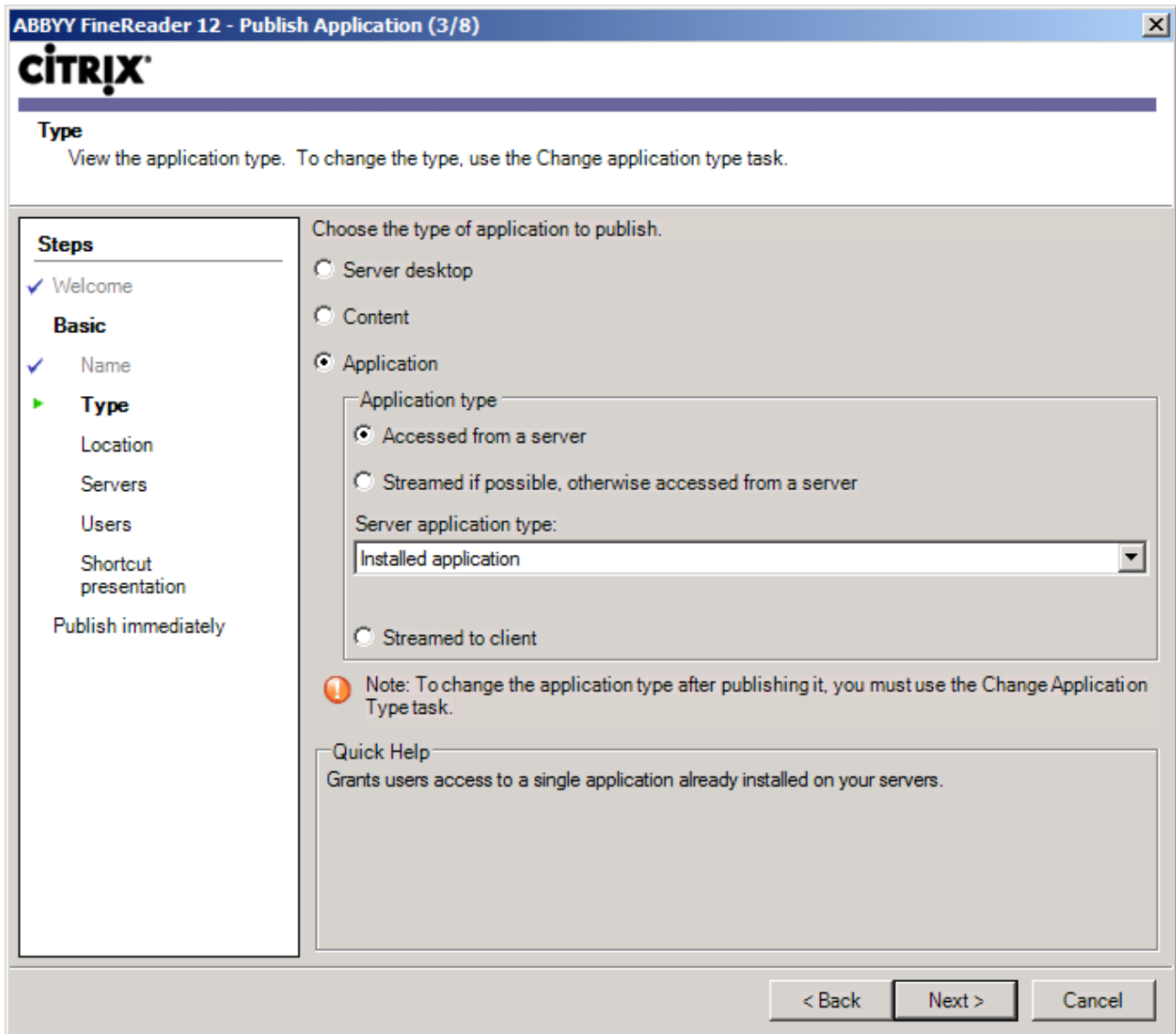
Enter the name and description that you want to be displayed to clients for this application.

Display name:
ABBYY FineReader 12

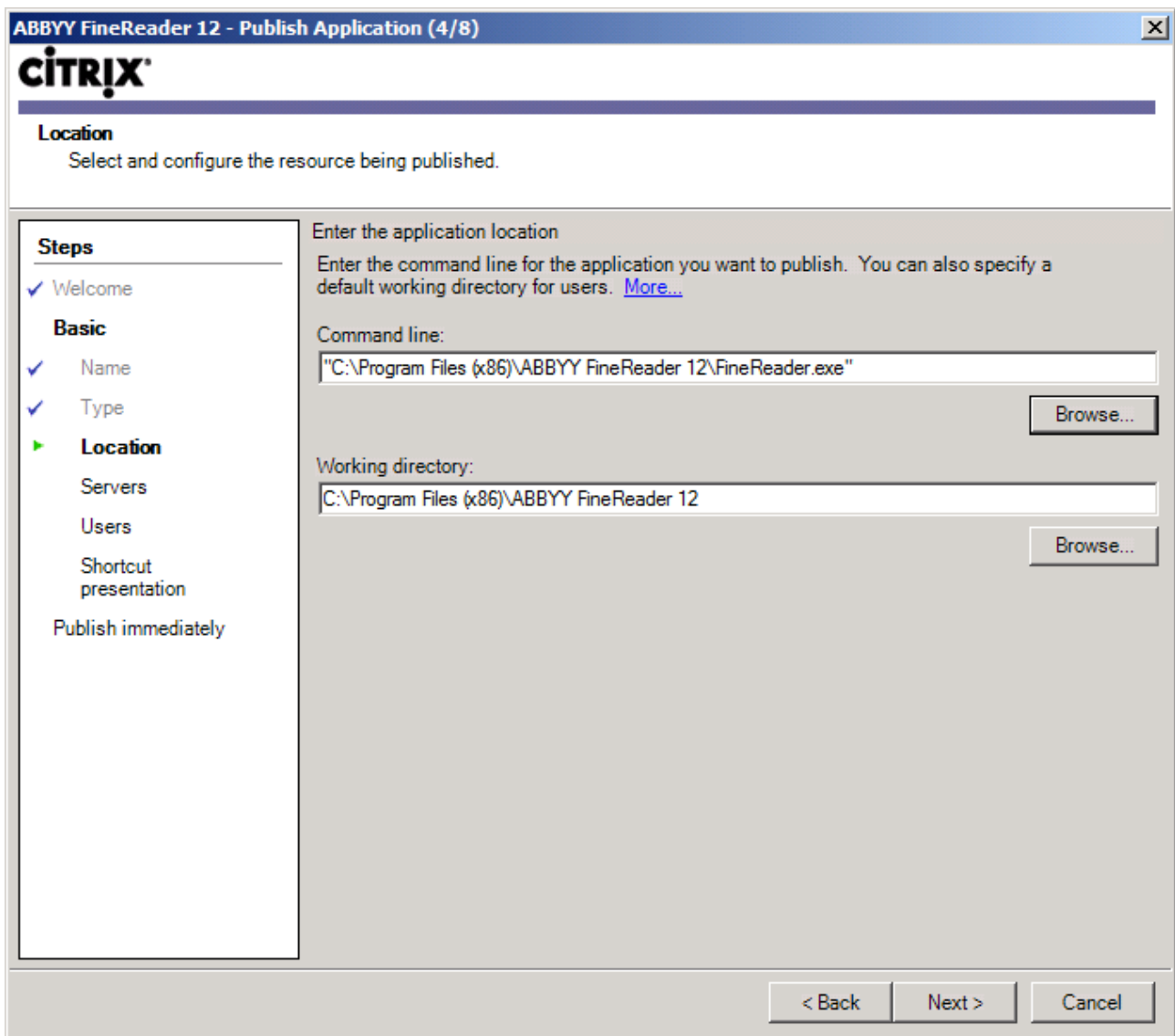
Application description:
ABBYY FineReader 12 Corporate

< Back Next > Cancel

5. **[Type]** (種類) の手順で、**[Application]** (アプリケーション) を選択します。
6. **[Application type]** (アプリケーションの種類) の項目で、**[Accessed from a server]** (サーバーからアクセス) を選択します。
7. **[Server application type]** (サーバー アプリケーションの種類) ドロップダウン リストで **[Installed application]** (インストールされているアプリケーション) を選択します。



8. [Location] (場所) の手順で、**FineReader.exe** へのパスを指定します。



9. ABBYY FineReader 12 が実行されるサーバーと、ABBYY FineReader 12 へのアクセス権を持つユーザーを選択します。
10. 最後の手順では、公開されるアプリケーションのアイコンをデスクトップおよび[Start] (スタート) メニューに配置できます。

FAQ (よくある質問)

ネットワーク接続設定を変更するには、どうすればよいですか？

License Server、License Manager、およびワークステーションの間の通信に使用する接続設定は、変更が可能です。

ネットワーク接続のセットアップ

1. ネットワーク接続をセットアップするには、次のファイルを使用します

%programfiles%\Common

Files\ABBYY\FineReader\12.00\Licensing\CE\Licensing.ini

このファイルは License Server がインストールされているコンピュータにあります。

2. 上記のファイルで、必要に応じてパラメータを変更します。

- 接続プロトコル
詳細については「[接続プロトコルのセットアップ](#)」を参照してください。
- 接続ポート
詳細については「[接続プロトコルのセットアップ](#)」を参照してください。

例:

[Licensing]

ConnectionProtocolType=TCP\IP

ConnectionEndpointName=81

注意: ファイアウォールによって、**%programfiles%\Common Files\ABBYY\FineReader\12.00\Licensing\CE\NetworkLicenseServer.exe** が指定されたポートにアクセスできなくなっていないことを確認してください。

3. **Licensing.ini** ファイルをコピーします

- License Manager がインストールされているすべてのコンピュータの License Manager フォルダ (既定では、License Manager は **%programfiles%\ABBYY FineReader 12 License Server** にインストールされます)
- FineReader.exe がある管理インストール フォルダ
例: **\\MyFileServer\Distribs\ABBYY FineReader 12**

重要事項 変更を有効にするためには、ABBYY FineReader 12 CE Licensing Service を再起動する必要があります

4. ワークステーションに ABBYY FineReader をインストールします。

[ステップ 3 ワークステーションへの ABBYY FineReader 12 のインストール](#)

注意: ABBYY FineReader がすでにワークステーションにインストールされている場合は、すべてのワークステーションで ABBYY FineReader を修復します。方法の詳細については以下を参照してください [ワークステーションで ABBYY FineReader 12 を修復するには、どうすればよいですか?](#)

接続プロトコルのセットアップ

[Licensing]

ConnectionProtocolType=[TCP\IP | NAMED PIPES]

このパラメータにより、使用されるプロトコル (TCP\IP) すなわち Named Pipes を指定できます。この情報は次のように使用されます。

- License Manager が License Server にアクセスするため

- ワークステーションで ABBYY FineReader のインストールまたは修復を行う際にワークステーションが License Server にアクセスするため

既定では、**Named Pipes** が使用されます。

接続ポートのセットアップ

[Licensing]

ConnectionEndpointName=[port number for TCP\IP | channel name for Named Pipes]

このパラメータにより、接続プロトコルのポート数または Named Pipes のチャネルの名前を指定できます。この情報は次のように使用されます。

- License Manager が License Server にアクセスするため
- ワークステーションで ABBYY FineReader のインストールまたは修復を行う際にワークステーションが License Server にアクセスするため

注意: License Server のインストール時にプログラムによって設定される Named Pipes プロトコルの名前付きチャネルの名前を変更しないようにしてください。

ワークステーションで ABBYY FineReader 12 を修復するには、どうすればよいですか？

インタラクティブ モードでの ABBYY FineReader 12 の修復

ワークステーションで以下の操作を行います。

1. タスクバーで **[スタート]** ボタンをクリックし、次に **[コントロール パネル] > [プログラムと機能]** をクリックします。

注意: Microsoft Windows XP では、この項目は **[プログラムの追加と削除]** と呼ばれます。

2. インストールされているプログラムのリストから **[ABBYY FineReader 12 Corporate]** を選択し、**[Change] (変更)** をクリックします。
3. 表示された **[Program Maintenance] (プログラムの管理)** ダイアログ ボックスで **[Repair] (修復)** を選択し、**[Next] (次へ)** をクリックします。
4. ウィザードに表示される手順に従います。

コマンド ラインを経由した ABBYY FineReader 12 の修復

ワークステーションで次のコマンドを実行します。

- `msiexec /f {F12000CE-0001-0000-0000-074957833700}`

License Server をホストしているコンピュータの名前を変更したり、License Server を別のコンピュータに移動したりするには、どうすればよいですか？

ローカル エリア ネットワークで ABBYY FineReader を展開し、その後で License Server をホストしているコンピュータの名前を変更した場合または License Server コンピュータで予期しないエラーが発生した場合は、次の操作を行ってください。

1. License Server がインストールされているコンピュータから License Server を削除します。
注意: そのコンピュータがアクセス不可能な場合は、ステップ 2 に進みます。
 - a. タスクバーで **[スタート]** ボタンをクリックし、次に **[コントロール パネル] > [プログラムと機能]** をクリックします。
注意: Microsoft Windows XP では、この項目は **[プログラムの追加と削除]** と呼ばれます。

- b. インストールされているプログラムのリストから [**ABBYY FineReader 12 CE License Server**] を選択し、[**Remove**] (削除) をクリックします。
2. **\\NewServer** など、異なるコンピュータに License Server をインストールします。
3. License Manager がインストールされているすべてのコンピュータで、
%Program Files%\ABBYY FineReader License Server\LicenseManager.ini というファイルのパラメータを次のように編集または追加します
[Licensing]
NetworkServerName=<コンピュータ名>
このパラメータにより、License Manager がアクセスするサーバーの名前を指定できます。たとえば、次のように指定します
[Licensing]
NetworkServerName=MyComputerName
重要事項 変更を有効にするためには、ABBYY FineReader 12 CE Licensing Service を再起動する必要があります。
4. ABBYY FineReader 12 Corporate License Manager でライセンスの追加と認証を行います。詳細については ABBYY FineReader License Manager ヘルプのファイルを参照してください。
5. 管理インストール ポイントで ABBYY FineReader 12 フォルダに移動し、**Licensing.ini** ファイルを作成します。詳細については [管理インストール ポイントの作成](#) を参照してください。
6. 作成した **Licensing.ini** ファイルの **[Licensing]** セクションに **NetworkServerName** パラメータを追加します。このパラメータはサーバーの名前を指定します。例：
[Licensing]
NetworkServerName=MyComputerName
7. ABBYY FineReader をワークステーションに再インストールします。「<**COMPUTER NAME**>.ABBYY.LicServer」という名前のファイルが作成されます。<COMPUTER NAME> は **NetworkServerName** パラメータの値です。例: MyComputerName.ABBYY.LicServer。
詳しくは「[ステップ 3 ワークステーションへの ABBYY FineReader 12 のインストール](#)」を参照してください。
8. 「<**COMPUTER NAME**>.ABBYY.LicServer」ファイルを別のワークステーションにコピーします。このファイルがある場所：
 - **%programdata%\ABBYY\FineReader\12.00\Licenses** (Windows Vista 以降を使用している場合)
 - **%allusersprofile%\Application Data\ABBYY\FineReader\12.00\Licenses** (Microsoft Windows XP 以前を使用している場合)

LAN でのグループ作業

ABBYY FineReader 12 はローカル エリア ネットワーク (LAN) 上でドキュメントを処理するツールや機能を備えています。

複数のコンピュータでの同じ ABBYY FineReader ドキュメントの処理

ABBYY FineReader をローカル エリア ネットワーク上で実行すると、すべてのプログラム ツールと機能がワークステーションで利用できます。

ABBYY FineReader ドキュメントを複数の LAN コンピュータで同時に使用する場合は、以下の点を考慮に入れてください。

- 各コンピュータに ABBYY FineReader 12 を個別にインストールしておく必要があります。
- すべてのユーザーが ABBYY FineReader ドキュメントへの完全なアクセス権限を持っている必要があります。
- 各ユーザーがドキュメントにページを追加して、修正を加えることができます。
- あるユーザーが処理中のドキュメント ページは、他のユーザーに対してロックされます。
- ページのステータスは [**Pages**] (ページ) ウィンドウに表示されます。ユーザーは、現在誰がページで作業を行っているか (すなわち、該当するユーザーとコンピュータの名前)、ページが認証または編集されたかどうかを確認できます。この情報は、[**Details**] (詳細) 表示を選択した場合に [**Pages**] (ページ) ウィンドウに表示されます。
- ABBYY FineReader ドキュメントで使用されるフォントは、各コンピュータにインストールしておく必要があります。フォントがインストールされていないと、認識されたテキストが正しく表示されないことがあります。

複数のコンピュータで同じユーザー言語とユーザー辞書を使用する

ABBYY FineReader 12 では、複数のユーザーが同じユーザー言語とユーザー辞書を同時に使用できます。

ユーザー辞書とユーザー言語を複数のユーザーが使用できるようにするには

1. ABBYY FineReader ドキュメントを作成するか、または開いて、そのドキュメントに必要なスキャン オプションと OCR オプションを選択します。
2. ユーザー言語を作成する前に、ユーザー辞書を保存するフォルダを指定します。このフォルダは、すべてのネットワーク ユーザーがアクセスできる必要があります。

注意: 規定では、ユーザー辞書は **%Userprofile%\Application Data\ABBYY\FineReader\12.00\UserDictionaries** (ご使用のコンピュータの OS が Windows XP の場合) または

%Userprofile%\AppData\Roaming\ABBYY\FineReader\12.00\UserDictionaries

(ご使用のコンピュータの OS が Microsoft Windows Vista または Windows 7 の場合) に保存されます。

辞書フォルダを指定するには

1. [**Tools**] > [**Options...**] (ツール) > (オプション...) を選択し、[**Advanced**] (オプション) ダイアログ ボックスの [**Options**] (詳細) タブで [**User Dictionaries...**] (ユーザー辞書...) ボタンをクリックします。
2. [**Browse...**] (参照...) をクリックし、フォルダを選択します。

3. *.fbt ファイル形式でユーザー パターンとユーザー言語を保存します。
 1. **[Tools] > [Options...]** (ツール)>(オプション...) を選択し、**[Read]** (オプション) ダイアログ ボックスの **[Options]** (読み取り) タブをクリックします。
 2. **[User patterns and languages]** (ユーザー パターンとユーザー言語) の項目で、**[Save to File...]** (ファイルに保存...) ボタンをクリックします。
 3. **[Save Options]** (保存オプション) ダイアログ ボックスで、*.fbt ファイルの名前と、ファイルを保存するフォルダを指定します。このフォルダは、すべてのネットワーク ユーザーがアクセスできる必要があります。

4. これで、ユーザーが新しい ABBYY FineReader ドキュメントを作成する場合は、手順 3 で保存した *.fbt ファイルからユーザー パターンとユーザー言語を読み込んで、手順 2 で作成した、ユーザー辞書を保存するフォルダへのパスを指定しなければなりません。

重要 ユーザー辞書、ユーザー パターン、およびユーザー言語にアクセスできるようにするには、それらが保存されているフォルダの読み書き権限を持っている必要があります。

[Language Editor] (言語エディタ) ダイアログ ボックスで使用可能なユーザー言語のリストを表示するには (**[Tools]**>**[Language Editor...]** (ツール)>(**言語エディタ...**) を選択し、**[User languages]** (ユーザー言語) にスクロールします)。

あるユーザー言語を複数のユーザーが使用している場合、その言語は「読み取り専用」としてのみ使用でき、ユーザーがユーザー言語のプロパティを変更することはできません。ただし、複数の LAN コンピュータで使用されているユーザー辞書に単語を追加したり削除したりすることは可能です。

ある辞書のあるユーザーが編集している場合、他のユーザーはその辞書を「読み取り専用」としてのみ使用できます。すなわち、他のユーザーはこの辞書を使用して OCR を実行し、スペルチェックを行うことはできませんが、単語の追加または削除はできません。

ユーザーがユーザー辞書に加えたあらゆる変更は、その辞書が保存されているフォルダを選択したすべてのユーザーが利用可能です。変更内容を有効にするには、ユーザーが ABBYY FineReader を再起動する必要があります。

テクニカル サポート

ABBYY FineReader 12 のインストール方法や使用方法について疑問があり、この『システム管理者ガイド』で答えが見つからない場合は、ABBYY テクニカル サポートまたは ABBYY パートナー会社までお問い合わせください。連絡先情報については、www.abbyy.com の「サポート」セクションを参照してください。